

平成 28 年度

学校法人高水学園
事業報告書

1 法人の概要

(1) 建学の精神

本学の建学の精神は、「楽学」である。これは論語の第一章「学びてときに之を習う、亦説ばしからずや。朋有り遠方より来る、亦樂しからずや。」からの引用である。

その謂れは、「学んだことを常に繰り返してゆくと、やがて自分のものとなり、自由に働きを表すようになる。」である。絶えざる人格の練成と教育の実践を重視している。

(2) 法人の概要

明治	31年	4月	山口県高水村新町に就業年限2ヶ年の高水村塾を創設	
	32年	11月	私立学校令発布により塾則を制定	
大正	9年	7月	修業年限5ヶ年に延長し高水中学と改称	
	12年	3月	財団法人山口県高水中学校に移行	
昭和	23年	4月	学制改革により山口県高水高等学校に移行、併設中学校は付属中学校と改称	
	26年	3月	学校法人山口県高水高等学校設立	
	27年	4月	全日制商業科設置	
	29年	4月	岩国市に学校移転	
	34年	4月	校名を高水高等学校・同付属中学校と改称	
	35年	4月	高水高等学校家政科を設置	
	46年	4月	法人名を高水学園と改称、岩国短期大学(幼児教育科、英語科)を設立	
	51年	3月	高水高等学校家政科を廃止	
	56年	10月	岩国短期大学創立10周年記念式典挙行	
	平成	10年	10月	学園創立100周年記念式典挙行
		13年	4月	岩国短期大学にビジネス実務科設置
14年		3月	岩国短期大学英語科を廃止	
18年		4月	ビジネス実務科をキャリアデザイン学科に名称変更	
20年		4月	高水高等学校付属中学校と高水高等学校の一貫教育の施行(学則に規定化する)	
25年	3月	岩国短期大学キャリアデザイン学科廃止		

(3) 設置する学校・学科

(平成28年5月1日現)

学 校 名	学 部 ・ 学 科 等 名	開 設 年 度	入 学 定 員	収 容 定 員	現 員 (d)	
					人	人
					うち留学生数	
岩国短期大学	幼児教育科	年度		人	人	人
		S 46	80	160	136	0
			80	160	136	0
高水高等学校	全日制課程(普通科)	S 23	330	1,045	711	0
付属中学校		S 23	90	285	100	0

(5) 役員概要

(平成28年5月1日)

定員数 理事9名、監事2名

区分	氏名	常勤・非常勤の別	経歴	就任	
				就任年月日 (重任年月日)	届出年月日 (登記年月日)
理事長	宮川 明	常勤	高水学園理事長	平成12年12月7日 (H24.10.13)	平成24年10月31日 (H24.10.22)
理事	寺嶋 隆	常勤	岩国短期大学学長	平成12年12月7日 (H24.10.13)	平成24年10月31日
理事	前田 茂雄	常勤	高水高等学校長	平成23年4月1日 ()	平成24年10月31日
理事	森橋 律夫	非常勤	岩国駅構内タクシー社長	平成22年4月1日 (H24.10.8)	平成24年10月31日
理事	富沢 佐一	非常勤	中国新聞社客員編集委員	平成24年4月1日 ()	平成24年10月31日
理事	松原 一誠	非常勤	錦ドリーム開発取締役	平成17年4月1日 (H24.10.13)	平成24年10月31日
理事	加藤 善美	非常勤	前高水高等学校長	平成25年4月1日 ()	平成25年4月9日
理事	舘 澄子	非常勤	高水学園同窓会副会長	平成27年4月1日 ()	平成27年4月1日
理事	宮川 洋	常勤	高水高等学校事務局長	平成16年10月13日 (H24.10.13)	平成24年10月31日 (H24.10.22)

● 監事の就任年月日

区分	氏名	常勤・非常勤の別	就任	
			就任年月日 (重任年月日)	届出年月日
監事	池元 幸信	非常勤	平成20年10月13日 (H24.10.13)	平成24年10月31日
監事	村元 真澄	非常勤	平成27年12月10日 ()	平成27年12月14日

(平成28年5月1日現在)

(定員数20名)

(6)評議員の概要

氏名	主な現職等	就任	
		就任年月日	重任年月日
寺嶋 隆	理事	平成11年4月1日	平成24年10月13日
前田 茂雄	理事	平成23年4月1日	
宮川 洋	理事	平成17年4月1日	平成24年10月13日
宮本 剛	高水高等学校附属中学校長	平成27年4月1日	
森橋 律夫	理事	平成11年9月21日	平成24年10月13日
西村 宏	岩国市教育委員長	平成22年4月1日	平成24年10月13日
松原 一誠	理事	平成12年10月13日	平成24年10月13日
富沢 佐一	理事	平成16年10月13日	平成24年10月13日
舘 澄子	理事	平成12年10月13日	平成24年10月13日
加藤 善美	理事	平成29年3月2日	平成24年10月13日
渡辺 耕而	元高水高等学校附属中学校長	平成11年4月21日	平成24年10月13日
伊達 明彦	岩国通運代表取締役	平成1年3月28日	平成24年10月13日
吉岡 賢一	高水学園同窓会副会長	平成15年7月16日	平成24年10月13日
長尾 泰子	元高水学園囑託	平成12年10月13日	平成24年10月13日
玉田 和子	錦病院理事	平成16年10月13日	平成24年10月13日
岡本 勝	とみや取締役社長	平成17年4月1日	平成24年10月13日
稗本 哲也	前高水高等学校事務長	平成15年1月22日	平成24年10月13日
那須 理恵	高水高等学校事務長	平成27年12月10日	
片山 秀夫	元高水高等学校附属中学校長	平成19年5月30日	平成24年10月13日
角 仁稔	元高水高等学校講師	平成16年10月13日	平成24年10月13日

(7)校地校舎等の状況

(平成28年5月1日現在)

① 校地等

区分	(学校名) 岩国短期大学			高水高等学校・中学校			合計		
	専用	共用	計	専用	共用	計	専用	共用	計
所有	m ² 34,551.00	m ²	m ² 34,551.00	m ² 131,822.00	m ²	m ² 131,822.00	m ² 166,373.00	m ²	m ² 166,373.00
借用			0.00			0.00			0.00
合計	34,551.00	0.00	34,551.00	131,822.00	0.00	131,822.00	166,373.00	0.00	166,373.00
最終届出年月日	H21 年 12 月 28 日			H10 年 2 月 3 日			年 月 日		

② 校舎等

区分	岩国短期大学			高水高等学校・中学校			合計		
	専用	共用	計	専用	共用	計	専用	共用	計
所有	m ² 8,705.00	m ²	m ² 8,705.00	m ² 18,581.00	m ²	m ² 18,581.00	m ² 27,286.00	m ²	m ² 27,286.00
借用			0.00			0.00			0.00
合計	8,705.00	0.00	8,705.00	18,581.00	0.00	18,581.00	27,286.00	0.00	27,286.00
最終届出年月日	H17 年 5 月 31 日			H17 年 5 月 31 日			年 月 日		

(3) 設置する学校学科の名称・設立月・所在地

学校名	設立年月	所在地
岩国短期大学	昭和46年4月	山口県岩国市尾津町二丁目24番18号
高水高等学校	昭和26年3月	山口県岩国市尾津町二丁目24番18号
高水高等学校付属中学校	昭和26年3月	山口県岩国市尾津町二丁目24番18号

平成28年5月1日現在

(4) 設置する学校学科の入学定員と学生生徒数(単位：人)

学校名	学科名	入学定員	入学者数	収容定員	学生数
岩国短期大学	幼児教育科	80	78	160	136
高水高等学校	普通科	330	222	1,045	711
付属中学校	普通科	90	36	285	100

平成28年5月1日現在

【教職員の概要 専任(非常勤)】(単位：人)

学校名	教員数(非常勤)	職員数(非常勤)	合計(非常勤)
岩国短期大学	11 (27)	7 (8)	18 (35)
高水高等学校	45 (11)	6 (6)	51 (17)
付属中学校	13 (1)	1 (0)	14 (1)

平成28年5月1日現在

Ⅱ. 事業の概要

■【法人全体】

学園創立 120 周年記念に関する事業実施である「中国新聞掲載卒業生コラム」等の計画立案を行った。また、学園全体で、教育振興寄付金の募集を新たに進めたことで、外部資金を獲得することができた。

■【短期大学】

I. 事業報告

1. 教職員の資質の向上とモラルの高揚

教職員の資質向上のために、FD研修会（年3回）とSD研修会（毎月2回）を実施している。4月の学期始めには非常勤講師を対象に合同研修会を開催し、本学の教学の運営方針を学内で共有している。また、全教職員対象の合同研修会として、8月に財務状況説明会、2月にハラスメント講習会を実施した。

2. 入学定員確保と就職率達成

◎ 指定校推薦入試の強化

指定校より、成績優秀で入学後もリーダー的活躍が期待される生徒を本学の学生として迎え入れるため、平成 29 年度入試より指定校推薦入試受験生のうち評定平均値が 4.5 以上の優秀な生徒については、入学金を全額免除する奨学制度を設けた。

◎ 高大連携及び中大連携の拡充を図ることで、受験生への広報活動に繋げる。

高大連携協定校については、平成 27 年度においては 2 校と締結しているが、平成 28 度更に 2 校との協定書の取り交わしを実施した。また、中学校との連携教育の推進を図るため、岩国市内の中学校との連携授業を開始し、中学校段階から幼児教育・保育の分野をめざす生徒が本学への進学を目標とできるよう環境づくりを推進した。

◎ オープンキャンパスの内容強化

受験を検討する高校生や社会人が本学の魅力を感じ取れるようオープンキャンパスの内容充実を図るとともに、参加者の受け入れ態勢を充実する。そのため、毎回参加者のアンケート結果の内容やキャンパスメイトとして参加する学生の改善意見を吟味しながら参加者の満足度を向上させる取り組みを行った。

◎ 本学独自の奨学金制度の広報

高校生が経済的負担を比較検討して進学先を決定する実情を踏まえ、他大学との競争力を保持強化し、意欲ある優秀な学生を積極的に獲得したり経済的理由による中途退学を防止したりするための各種奨学制度の見直しと改善を図り、教員による高校訪問、業者主催のブース形式による進学相談会等においても高校生に直接説明を行った。

3. 中期的財政計画の実施

人事政策については、人事評価を具体的に検討していかなければならないが、本学は、幼児教育科単科であるため、教育課程に沿った教員の担当科目の適切な配置と事務職員の業務内容の見直しを中心に合理化を図った。

4. 退学者等を減らす学生指導及び教育相談の充実

科会、学生部、クラス顧問等が中心となつての組織的な中途退学予防の取り組みを行った。入学当初の欠席状況調査や、それに基づいたクラス担任による学生への個人面談（オフィス

アワーの時間を利用して実施)を経て保護者懇談会を年3回行い、現状把握と早期対応を可能にした。また、行事や実習前の基本的な生活習慣の確認やマナー指導により、充実した実習等を実施することにより、学習・就職への意欲にもつなげることができた。個々の学生の状況を月一度の科会において共通理解の場を持つことも重要であり、これらの組織的な取り組みは、中途退学予防の有効な手立てになっている。

5. 学生募集と広報活動の充実強化

全教員による高校訪問は年間を通じて4期に分け、本学の取り組み・入試制度・奨学金制度・オープンキャンパスの案内等の説明を行った。1回の訪問校は約100校強であり、訪問の時期により説明内容を変更している。

6. 就職活動の支援強化

キャリア支援センター等が中心となつてのキャリア支援の組織的な取り組みを行っている

◎ 就職100%に向けての取り組みの強化

1年次後期に就職希望調査を実施し、2年次5月には全員の個別面談を実施した。就職希望調査及び相談を行い、学生の希望確認とつながりを大切に実施した。また、正課内でのキャリア教育を実施し、就職内定までのアドバイス、内定後のアドバイスまできめ細やかにを行い不安を取り除いている。1年生の夏より、就職対策試験の講座を専任の教員で実施し、学生の学力向上を目指した。

1年生	8月 2～3月	基礎教養 教養
2年生	4～7月 5～2月	専門 面接指導（キャリア支援センター員を中心に実施）

◎ 「ようこそ先輩！保育実践力養成講座」の新設と充実

これまでの就職体験発表を進化させ、キャリア開発Ⅰ・Ⅱ・Ⅲにおいて施設、保育所、幼稚園各分野で活躍している卒業生を講師として招き、就職活動の取り組みや新任から現在までの体験を通しての講話、保育実技等のワークショップを体験することで、保育実践力の向上に努めた。

◎ フォローアップセミナーの強化

本学の離職者に対する調査によると、自分が想定していた仕事内容と実際の仕事とのギャップが大きいことが原因である。卒業後、早期にお互いの経験や思いを出し合い、問題点・課題・解決策を考える中でそのギャップを埋め、卒業生のネットワークの充実を図ることは、孤独感を緩和する。明日への活力を感じることができるセミナーの実施は、早期離職の軽減に有効であると考え、6月に実施し多くの卒業生が参加した。

7. 地域貢献の推進

地域交流センター、岩国子育て支援ネットワーク（Iwatan子育て愛ねっとアカデミー）等が中心となつての地域連携の組織的な取り組みを行っている。

◎ 生涯学習公開講座の実施

地域における高等教育機関の知的貢献という目的からオープンカレッジを年間前期と後期に実施している。特に高度情報社会に向けて一般市民の情報機器に対する啓発と理解、及び機械操作の習熟を念頭に継続的な実施を行っている。文化芸術的貢献としては、誰もが参加できるという視点から声楽を中心とした講座を設けてプロとして舞台に立つ講師を

招聘して開講した。受講した市民の希望により学習成果発表を行った。

◎ 親学講演会の充実

年一度の親学講演会を岩国親学推進協議会の協力を得て開催している。将来、保育者になる学生に対して、子供が親に対しての心情を吐露した句に親が応える親守詩の発表を聞かせて親心を実感する時間を設けた。また、親学の講師を招いて講演を受けているが、今後は保護者対応の実践的学習への展開を構想している。

◎ 学生ボランティアの奨励

入学後学生にボランティア活動カードを配付し、ボランティア活動に参加した行事・項目を記録し、活動先の担当の方や担当した教職員からの確認印を年2回定期的に回収・集計している。2年間で46時間以上ボランティア活動に参加した学生の中から、宮川澳男賞と地域貢献奨励賞を、学位記授与式で表彰した。

◎ 岩国子育て支援ネットワーク（Iwatan 子育て愛ねっとアカデミー）の活動

本学の幼児教育科の専門性を生かし地域の子育て支援事業を展開していくために、平成23年度に岩国子育て支援ネットワーク（Iwatan 子育て愛ねっとアカデミー）を設立し、5年が経過した。平成28年度以降も基本的な理念を継承し、保育者対象研修会（年2回）、「Iwatan 親子広場」（年6回）を新設・実施した。特に、主事業である「Iwatan 親子フェスタ」は、昨年度、第5回記念「Iwatan 親子フェスタ」において、岩国幼稚園協会、岩国市保育協会、岩国市と和木町母子保健推進協議会等の連携によって、盛大に開催することができた。このネットワークをさらに継承して組織的に子育て支援事業を行っていくために、第6回目となるIwatan 親子フェスタを開催し、約1300名の来場者を迎え盛大に開催することが出来た。また、参加費が無料であるため、山口県から10万円の補助を受けることができた。

II. 事業内容

1. 入学式

平成 28 年 4 月 2 日（土）78 名入学

2. 新入生歓迎行事

平成 28 年 4 月 15 日（金）～4 月 17 日（日）十種ヶ峰青少年自然の家

3. 学位記授与式

平成 29 年 3 月 19 日（日） ※宮川澳男賞（2 名表彰）

4. オープンキャンパス「本学」

3 月 20 日（月）、6 月 18 日（土）、7 月 10 日（日）、8 月 6 日（土）、8 月 7 日（日）
9 月 22 日（木）、11 月 20 日（土） 計 7 回実施

5. 進学説明会

業者主催によるブース形式の入試相談会に約 60 回参加

6. 高大連携「高大連携高校と出前授業(10 回)等による連携を推進」

◎ 高水高校 5 回

◎ 山口県立岩国総合高校 5 回

◎ 山口県立岩国商業高校 6 回

◎ 山口県立熊毛北高校 2 回

◎ 山口県立新南陽高校 3 回

◎ 広島県立大竹高校 1 回

7. 中大連携（岩国市立麻里布中学校、岩国中学校、廿日市市立野坂中学校）

◎ 岩国市立麻里布中学校 1 回

◎ 岩国市立岩国中学校 1 回

◎ 廿日市市立野坂中学校 大学訪問、模擬授業

◎ 大竹市立小方中学校 大学見学、図書館での読み聞かせ

8. 入学試験

A O 入試（4 回）、指定校推薦入試（2 回）、推薦入試（3 回）、試験入試（3 回）

社会人入試（6 回）、長期履修生入試（2 回）

9 入学前教育（入学前プログラム実施）

オリエンテーション、大学の授業の受け方（3 科目）、保育者になるため（1 科目）
基礎技術（3 科目）、人間関係づくり（3 科目）

第 6 回 Iwatan 親子フェスタへの参加

平成 28 年 11 月～平成 29 年 3 月までの 9 日間で

10. 教員研修会「FD」（当該活動 3 回）、職員研修会「SD」、教職員合同研修会

11. 教育懇談会・保護者懇談会（年度内 3 回実施）

12. 教育相談の充実

オフィスアワーは時間割に組み込み、前後期とも金曜日の 5 限目を設定、非常勤講師については授業時間の前後 10 分間とし、シラバスに明記。

13. 事業の運営

教授会（定例・臨時）、科会、部会、各種委員会

14. 相互評価実施

埼玉県羽生市にある「学校法人純真学園 埼玉純真短期大学」との相互評価を実施し、教員の相互訪問とヒアリングを通して報告書を作成した。

15. 地域貢献推進事業

生涯学習公開講座 平成 28 年度前期 2 講座、後期 2 講座

親守詩大会・親学講演会 11月26日(土)に実施

岩国子育て支援ネットワーク事業

保育者対象研修会

第11回保育者対象研修会 7月30日(土)

第12回保育者対象研修会 1月28日(土)

第6回Iwatan親子フェスタ 3月5日(日)

親子広場 5月14日(土)第1回、6月25日(土)第2回、

7月10日(土)第3回、9月22日(土)第4回、

10月8日(土)第5回、11月12日(土)第6回

16. その他の事業

岩国市と包括連携協定の締結 平成28年9月28日(水)岩国市役所にて調印式

第1回岩国市連携推進会議 11月18日(金)

福田岩国市長(本学客員教授)による特別講義 5月27日(金)

就職ナビ in いわたんの開催 平成28年8月30日(火)

お店屋さんごっこ 7月8日(金)

創立45周年企画中国新聞リレーエッセイ「いのち輝く教育」全23回

幼稚園教諭免許更新講習 平成28年8月20日(土)、8月21日(日)

私立大学等経営強化集中支援事業申請 タイプA採択される

1号館耐震診断への対応

3号館冷暖房設備改修

消防等防災訓練 10月14日(金)

■【高等学校・同付属中学校】

I 事業報告

付属中では、経営的には厳しくなるが、将来を見据え、優秀な人材(基礎学力と人物)を獲得するために、平成26年度から入試選考基準(入試での得点、調査書の観点別評定、面接)を厳しくし、人物・成績優秀な生徒に対しては奨学生制度を導入している。それが評価され、平成28年度入試においては志願者数、入学者数が若干名であるが増加に転じた。

付属中では、真の学力(学力の3要素)を育成するために、平成26年度から5教科(英・数・国・社・理)を中心にアクティブ・ラーニング(A・L)を導入している。A・Lを効果的に行う手段としてICTの活用も求められる。平成28年度に付属中全教室に電子黒板を設置し、タブレット46台を配置したICT教室も新たに整備し、A・Lの手法を用いた授業を展開している。

高校においては、3つの保障(人間性・学力・進路)と中学生にとって興味・関心が高い本校の特色ある運動部と文化部の部活動の魅力とその良さを定期的に中学校に発信しながら、今年度は32名の奨学生を獲得できた。

併設の岩国短期大学では幼稚園教諭と保育士の両方の資格が取得可能で、高校からは有利な校内推薦入試を利用して入学できることを近隣中学校の進路説明会等で毎年発信している。今年度は、併設の岩国短期大学へ11名(昨年度6名)の生徒が進学した。また、ユネスコスクールとしての地道な活動、特に姉妹校(カナダポールケイン高校)を通して短期・中期の国際交流研修会ができることを岩国市内の中学校を中心に広く周知徹底した。

II 事業内容

1. 本校での3つの保障（基礎学力、人間性、進路）に対して以下の取り組みを行った。

基礎学力の保障

- ①各科目標 普通科：基礎学力（知識、技能）の習得
六年制普通科：もう一つ上の目標の達成
- ②教員研修 年5回（1学期2回、2学期2回、3学期1回）実施。
特に2学期には発達障害への支援に対しての研修を外部講師を招いて講演会を実施した。
- ③教科会議 原則、毎週1回、英・数・国・社・理・保健・芸術・家庭科で実施した。
- ④研究授業 英・数・国・社・理の5教科で2学期に予定通り実施した。
- ⑤付属中では月1回の割合で5教科の研究授業とアクティブ・ラーニング（A・L）の手法を取り入れた授業実践を予定通り実施した。

人間性の保障 特別活動や部活動を通じた取り組みを行った。

- ①運動会 9月3日（土）
- ②楽学祭 9月23日～24日 テーマ「Infinity ～あふれる想いは無限大～」
3年に一回のPTA主催のステージライブ（チイキパレード）も開催した。
- ③修学旅行 ○普通科2年生修学旅行 9月28日～10月1日東京方面 生徒188名、引率教員8名で実施。
○六年制普通科1年生 10月23日～10月30日オーストラリア 生徒46名、引率教員3名で実施
- ④挨拶・無遅刻無欠席運動週間 各学期に3回実施
○6月13日～18日 ○11月14日～19日 ○2月13日～18日
- ⑤普通科2年生インターンシップ 11月16日（水）普通科2年生189名、企業等63社
- ⑥部活動 実績：夏季全国大会出場クラブ（女子ハンド、空手道、水泳、柔道、放送、アーチェリー）岩手国体出場（空手道部個人）
*岩手国体において組手団体戦に岩本選手（3年）が選出され優勝に貢献した。
*女子ハンドは、インターハイベスト8、全国選抜大会3位の成績を残した。
- ⑦その他 全日本高校模擬国連大会では2チーム出場した。
11月12日（土）・13日（日） 東京国連大学

進路の保障

- ①付属中 ○楽学テスト3回 ○学力推移調査2回 実施。
- ②進路指導 ○外部模試の活用 中3～高3 進研、全統、駿台模試を実施、
○模試検討会3回
進学者189名（4年制大学81名、短期大学22名、浪人生15名、専門学校71名）
○就職 就職模試、就職ガイダンス を実施
就職者58名（公務員8、民間50名）
*家居（未定者）5名
- ③進路研修会 ○高校保護者対象：各学年2回 ○生徒対象：各学年2回をそれぞれ実施。
- ④キャリア教育講演会
○11月30日（水） 12:50～15:00 体育館 映画上映と監督トーク、
講師 石川梵監督 映画「世界でいちばん美しい村」
全校生徒、教職員、保護者、国際ソロプチミスト岩国関係者 計900名で視聴した後、

石川監督による講演会を開催した。

2. 学校関係者評価委員会：外部からの視点で指導・助言をいただく。
 - 年3回（各学期開催）6月9日（木）、11月15日（火）、3月7日（火）実施
 - 学校関係者評価委員：PTA：岡田由紀子（再任）、企業：寺内浩之（新任）、中村義行（新任）、教育界：岡崎天隆（新任）、地域：八木敦浩（新任）の5名。

3. グローバル化・異文化理解に向けて
 - ネイティブ常勤講師を1名採用（ケイト先生、カナダ出身）
 - ICTの整備（付属中を中心に）夏季に整備を完了し、9月から運用開始。
 - 新たな姉妹校の提携（6月27日～29日）
 - オーストラリア、サザンクロス、C. C 2名来校、校長と姉妹校提携をする。
 - 姉妹校の来校（短期交換研修プログラムを実施）
 - カナダポールケイン高校 校長、教員1名、生徒7名 7月7日（木）～11日（月）
 - 姉妹校カナダポールケイン高校への短期交換研修プログラムを実施
 - 本校から教員1名、生徒7名、3月14日～23日の日程で派遣した。

4. 広報活動について
 - 以下の生徒募集活動を踏まえ、平成29年度入試を実施した。
 - 1月15日（日） 付属中学校・六年制普通科入試
 - 1月27日（金） 普通科入試

【高校】

- 中学校訪問 4地区への訪問（旧市内、玖西、柳井以西、広島西地区）へ各2名
- 第1回 6月16日 今年度入試の報告、卒業生・在校生の状況を説明
 - 第2回 12月5日 次年度入試について、3年生の進路状況を説明
- 中学校進路説明会
- 10月4日（火）岩国市内、大島地区中学校教員17校参加
- オープンスクールの開催（8月・11月）
- 第1回8月6日（土）参加者457名（生徒374名、保護者79名、引率教員4名）
内容 ①入試対策講義 ②クラブ見学 ③クラブ体験
 - 第2回11月3日 参加者141名（生徒106名、保護者34名、教員1名）
内容 ①入試対策講義 ②模擬授業 ③クラブ体験
- 文化部の発表会
- 吹奏楽定期演奏会（5月3日、シンフォニア岩国）
 - 長唄三味線発表会（8月28日、シンフォニア岩国）
- その他（報道関係）
- TYS番組「ちぐまや家族」での学校紹介（6月）が放映された。
 - KRY番組女子ハンド部の紹介（6月）が放映された。

【付属中】

- 小学校訪問（5月・9月）
- 下松市～廿日市方面、約100校訪問
- 付中入試説明会 2回

○10月2日(日)・29日(土) 計39組参加

オープンスクールの開催(5・7・8月)

学習塾挨拶回り(校長)

○各校責任者と情報交換を11月中旬に実施。

○12月11日(日) 各学年主任と各校責任者と懇話会を開催 計10名出席

ジュニア英語スクール

○第1回 7月21日～30日 全7回 受講生14名

○第2回 9月28日～11月30日 全8回 毎週水曜日16:40～17:30 受講生9名

Ⅲ 施設・設備の整備について

1. 主な施設設備の取得又は処分計画及びその進捗状況

ICT教室の整備を9月末に完了した。

○電子黒板 ○書画カメラ ○ノートパソコン4台 ○タブレット46台

○ビデオカメラ1台 ○レーザープリンター1台 ○プロジェクター3台

付属中6教室のICT化を実現した。

○電子黒板 ○書画カメラ

3. 財務の概要

(1) 決算の概要

① 貸借対照表の状況

有形固定資産は、短大の3号館(2階・3階)の空調設備を除却した為、建物が7,202万円減少。
 特定資産は、土地等購入引当特定資産を取崩した為、5,200万円減少。

② 収支計算書の状況

私立大学等経営強化集中支援事業に採択され、2,720万円の補助金増収となった。騒音防止対策(3号館空調設備)補助金として5,074万円の補助金増額。

(2) 経年比較

① 貸借対照表

(単位：千円)

	25年度	26年度	27年度	28年度	本年度末
固定資産			4,550,029	4,429,184	
流動資産			306,910	465,384	
資産の部合計			4,856,939	4,894,568	
固定負債			187,614	181,918	
流動負債			88,298	117,263	
負債の部合計			275,912	299,181	
基本金			4,637,294	4,607,252	
繰越収支差額			△ 56,267	△ 11,866	
純資産の部合計			4,581,027	4,595,387	
負債及び純資産の部合計			4,856,939	4,894,568	

② 収支計算書

ア) 資金収支計算書

(単位：千円)

収入の部	25年度	26年度	27年度	28年度	本年度
学生生徒等納付金収入			455,719	453,900	
手数料収入			25,649	25,178	
寄付金収入			12,093	29,393	
補助金収入			323,470	387,890	
資産売却収入			0	0	
付随事業・収益事業収入			12,539	23,639	
受取利息・配当金収入			5,313	4,346	
雑収入			28,017	62,063	
借入金等収入			0	0	
前受金収入			47,885	43,750	
その他の収入			181,717	118,319	
資金収入調整勘定			△ 81,309	△ 116,890	
前年度繰越支払資金			159,607	272,016	
収入の部合計			1,170,700	1,303,604	

支出の部	25年度	26年度	27年度	28年度	本年度
人件費支出			653,359	690,547	
教育研究経費支出			115,179	118,353	
管理経費支出			27,653	26,193	
借入金等利息支出			0	0	
借入金等返済支出			0	0	
施設関係支出			5,013	70,972	

設備関係支出		4,844	8,531
資産運用支出		415	28,501
その他の支出		124,987	32,766
資金支出調整勘定		△ 32,766	△ 66,406
翌年度繰越支払資金		272,016	394,147
支出の部合計		1,170,700	1,303,604

イ) 活動区分資金収支計算書

(単位：千円)

科目	25年度	26年度	27年度	28年度	本年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計			857,186	922,489	
教育活動資金支出計			796,191	835,093	
差引			60,995	87,396	
調整勘定等			△ 3,539	△ 8,325	
教育活動資金収支差額			57,456	79,071	
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計			60,300	111,573	
施設整備等活動資金支出計			9,857	79,503	
差引			50,443	32,070	
調整勘定等			△ 2,975	744	
施設整備等活動資金収支差額			47,468	32,814	
小計 (教育活動資金収支差額・設備整備等活動資金収支差額)			104,924	111,885	
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計			8,307	38,746	
その他の活動資金支出計			822	28,500	
差引			7,485	10,246	
調整勘定等			0	0	
その他の活動資金収支差額			7,485	10,246	
支払資金の増減額 (小計+その他の活動資金収支差額)			112,409	122,131	
前年度繰越支払資金			159,607	272,016	
翌年度繰越支払資金			272,016	394,147	

ウ) 事業活動収支計算書

(単位：千円)

科目	25年度	26年度	27年度	28年度	本年度
教育活動収支	事業活動収入の部				
	学生生徒等納付金			455,719	453,900
	手数料			25,649	25,178
	寄付金			11,843	26,523
	経常費等補助金			323,470	331,187
	付随事業収入			12,539	23,638
	雑収入			28,102	62,063
	教育活動収入計			857,322	922,489
	事業活動支出の部				
	人件費			650,865	684,851
	教育研究経費			207,891	211,287
	管理経費			31,242	29,748
	徴収不能額等			0	0
	教育活動支出計			889,998	925,886

	教育活動収支差額			△ 32,676	△ 3,397
教育活動外収支	事業活動収入の部				
	受取利息・配当金			5,313	4,346
	その他の教育活動外収入			0	0
	教育活動外収入計			5,313	4,346
	事業活動支出の部				
	借入金等利息			0	0
	その他の教育活動外支出			0	0
	教育活動外支出計			0	0
	教育活動外収支差額			5,313	4,346
	経常収支差額			△ 27,363	949
特別収支	事業活動収入の部				
	資産売却差額			0	0
	その他の特別収入			1,120	59,573
	特別収入計			1,120	59,573
	事業活動支出の部				
	資産処分差額			7,762	46,162
	その他の特別支出			0	0
	特別支出計			7,762	46,162
	特別収支差額			△ 6,642	13,411
	基本金組入前当年度収支差額			△ 34,004	14,360
	基本金組入額合計			0	△ 5,371
	当年度収支差額			△ 34,004	8,989
	前年度繰越収支差額			△ 41,267	△ 56,267
	基本金取崩額			19,004	35,413
	翌年度繰越収支差額			△ 56,267	△ 11,865

(参考)

事業活動収入計			863,755	986,409
事業活動支出計			897,760	972,048

(4) その他

① 有価証券の状況

なし

② 借入金の状況

なし

③ 学校債の状況

なし

④ 寄付金の状況

教育振興寄付金募集を開始し、一般寄付金として14,716,404円を獲得、受配者指定寄付金として2,570,000円獲得した。

⑤ 補助金の状況

外部資金の獲得の必要性から計画通り、岩国市より公開講座の補助金を220,000円、山口県よりIwatan親子フェスタの補助金を99,932円、文科省よりIT教育設備整備の補助金を5,963,000円獲得した。

⑥ 収益事業の状況

なし

⑦ 関連当事者等との取引の状況

ア) 関連当事者

あり（100万円未満の賃料のため、取引の重要性を判断する際の取引基準に該当しない。）

イ) 出資会社

なし

⑧ 学校法人間取引

なし